

○初二高和除の子

二除の子

初二高和除の子高三十

四高和除の子

二高

高

四高和除の子を城一と余

千二百五十二万  
六十八百九十九

六千六百  
七十九を城実と余

○初二高和除の子

二除の子

初二高和除の子高

又高和除の子

二高

高

又高和除の子を城一と余

初次三回五の高相併了九千二千八百三十九

を以て定高と余

一積十七万六千。六十四倍らふとせる二千九万  
二千七百五十九りきりて面とる

二積四万七千。十なり

一積千八百二十九百八十二倍らふとせる七十三万  
四百七十九りきりて面とる

二積三万七千七百七十九り

一積百千。百六十二倍とせる百六十二万八千

。さる八歩なり。三万面とる

三積百千七百七十九り

一積九百三十九万八千九百二十。倍とせる二千九  
百八十七万七千九百九十九りきりて面とる

二積九百三十九万七千九百九十九り

一積九百七千二百二十四。八倍九千二百。二万九千  
四百九十六りきりて面とる

算回九百九千〇六拾六步

同平立術 十七條

算策

明縱橫訣

是算本縱橫布樣明歌訣歌云意ナリ

一、縱十、橫百、立十、僵、十、十、相望、萬百、相當、  
 滿六、已上、五、在上方、六、不積、聚、五、不、單、張、  
 言十、自過、不、滿、自當、若、明、此、訣、可、習、九、章、

數解

一、縱十、橫十、一、位、八、算、亦、ラ、縱、ニ、仕、ウ、假、如、ハ  
 一、ハ、一、二、ハ、二、三、ハ、三、四、ハ、四、五、ハ、五、六、ハ、六、七、ハ、七、八、ハ、八、九、ハ、九、十、ハ、十

ナリ〇十ノ位ハ算木ヲ横ニ任ラ假如ハ  
 十ハ一〇 廿ハ二〇 卅ハ三〇 四十ハ四〇 五十ハ  
 三〇 十リ傍ノ小園ハ空也位ヲ付ル所ナリ碁石  
 シ用ルナリ

百立千儼トハ右ニ留意ナリ假如ハ百ハ一〇〇 二  
 百ハ二〇〇 三百ハ三〇〇 四百ハ四〇〇 五百ハ  
 五〇〇 十リ〇子ノ位ハ假如千ハ一〇〇〇 二千ハ  
 二〇〇〇 三千ハ三〇〇〇 四千ハ四〇〇〇 五千ハ  
 五〇〇〇 以  
 下モ此通りナリ



萬百相當トハ萬ノ位、算木ハ皆百ノ位ノ算木

ト同シナリ

千ト亦楓望トハ千ノ位ト十ノ位ト同シナリ  
 滿六已上 五在上方トハ六又六十又六百又六

千又六万ナド、六ヨリ以上ノ殺七八九共  
 二皆同ジク五算ヲハ上ニ置テ刻ル処ヲ下  
 ニ布ナリ假令ハ六ハ下ニ七ハ下ニ八ハ  
 下ニ九ハ下ニ十ナリ上方ノ横ニ置一算ヲ五  
 トスル也又六十八上ニ七十八上ニ八十八  
 上ニ九十八上ニ十ナリ上方ノ縦ニ置一算ヲ  
 五十トスル也是モ一ト百ト万ト同シク又

十ト子ト十ト同シ形ニ置ナリ

六不積聚 五不單張トハ六ヲ  七ヲ  或

六十ヲ  七十ヲ  此ノ如クニ其後ホ

ト積カサヌヘカラス必ス五ヲバ一本ニ括

リテ上方ニ置ベシ又五トバカリノ時ニ一

本置ヘカラス假如五ヲ一五


百ヲ一ト置類ニ皆惡シ

是近ハ箕木ノ置様ナリ

言十自過 不滿自當 是ハ爻除ノ時ニ用ル

假令ハ八ト七ト相彙スルニ   此ノ

如ク布テ七八五十六ト呼テ五十六ニ作ル

或五十ト呼ユヘニ八ノ九へ五十ノ箕木 

ヲ布ク是ラ自過ト云ウ次ニ六ト呼テ八ヲ

破リテ六ニ作ル是ラ自當ト云スベテ自ラ

ト云身ト云或ハ位ト云類ハ皆其技ノ本位

ノリナリ

若明此訣 可習九章 是結尾ノ詞ナリ差ニ

タル意味ナシ

明異名訣

中羊二分 少羊一分 大羊三分 弱羊四分 強羊四分

明正負訣

凡救ハ皆正ナリ若此救ヲ以テ彼救ヲ減ス  
ル此救多ク彼救少ナレハ却テ減スベ  
シ是彼救不足スルナリ故ニ其不足ノ分ヲ  
彼ノ位ニアツケテ置ナリコレヲ負ト名ツ  
クルナリ負ハソムク意ニテ此ヲ以テ彼ヲ  
減スル若ナルヲ却テ彼ヲ以テ此ヲ減スル  
故ナリ凡ク負救ハ獨<sub>ニ</sub>極<sub>ニ</sub>トナシ必ズ正策  
ヲ得テ後ニ負ト云フアルナリ

明	其同名相減	則異名相加
正	正無人負之	負無人正之
負	其異名相減	則同名相加
訣	正無人正之	負無人負之

救解

其同名相減

則異名相加

是ハ相減スルノ

法ナリ同名トハ正ト正又負ト負トナリ凡  
リ此ヲ以テ彼ヲ減スルト云クニ此モ正彼  
モ正フレハ多ノ内少ヲ減スルナリ若此ハ

正彼ハ負ナレハ却テ彼ニ從テ負トシテ加  
フルナリ

假如ハ此ハ丁一被ハ三ナレハ此丁一

以テ彼三ヲ減シテ餘リ二ナリ又此ハ

三被ハ三ナレハ此ヲ以テ彼ヲ減シテ

丁トナルナリ此ハ丁一被ハ三ナレハ

此ヲ以テ彼ヲ減スルニ異名ナル故ニ彼ニ

從テ負六ヲ正ニシテ彼ニ加ヘテ三トス

ルナリ皆此意ナリ

正意ハ負ニ 負無入正之

此ヲ以テ彼ヲ減

スル時ニ此ハ正ニシテ彼教室ナル時ハ此  
教ヲ負ニシテ彼空位ニ置ナリ又此教負ニ  
シテ彼教室ナラハ此教ヲ正ニシテ彼空位  
ニ置ナリ

假如ハ此ハ三被ハ〇ナラバ此三

ヲ以テ彼空ヲ減シテ彼三トナルナリ

又此三ヲ以テ彼〇ヲ減スレハ彼

三トナルナリ

其異名相減 則同名相加 是ハ相加フル法

ナリ異名トハ彼正此負或彼負此正ナルヲ

云凡ソ此正救ヲ以テ彼正殺ニ加フル時ハ  
 此負救ヲ彼負ニ加フルナリ若此正救ヲ  
 彼負救ニ加フル時 多ノ内少ク減シテ餘  
 ル処ノ救ヲ其正負ニ從テ布ヘシ

假如ハ此正<sup>三</sup>彼<sup>三</sup>ニ加フレバ又ト  
 ナル又此<sup>三</sup>彼<sup>三</sup>ニ加フレバ又ト  
 ナス又此<sup>三</sup>彼<sup>三</sup>ニ加フレバ又ト  
 スル類ナリ

正<sup>三</sup>負<sup>三</sup>又正<sup>三</sup>負<sup>三</sup> 此ヲ以テ彼ニ加  
 ル時ニ此ハ正ニシテ彼ハ空ナテバ此救ヲ

彼位ニ布テ正ニス此救負ニシテ彼空ナラ  
 ハ此救ヲ彼位ニ布テ負ニスルナリ正負皆  
 此救ニ從フナリ

同名相乘正之 異名相乘負之  
 同名相除負之 異名相除正之

數解

同名相乘正之 異名相乘負之 是ハ此ヲ以  
 テ彼ニ乘スル時此モ正彼モ正ナル故ハ此  
 救正ヲ以テ彼救正ニ乘シテ正トナル又此



救負彼救負ナル時ハ此救負ヲ以テ彼救負  
ニ象シテ正トナル又此救正ト彼救負ト相  
象シテハ負トナルナリ

假如此 |||| ヲ以テ彼 || || 二象スレハ

└トス又此 || || ヲ以テ彼 || || 二象ス

レハ || || トス又此 || || ヲ以テ彼 └トス

象スレハ || || トス

同名相除負之 異名相除正之 是ハ此ヲ以

テ彼ヲ除クニ此モ正彼モ正ナルトキハ此

正ヲ以テ彼正ヲ除テ商ヲ負トス又此救モ

負彼救モ負ナル故ハ此負ヲ以テ彼負ヲ除




テ商ヲ負トス

假如ハ此 || || ヲ以テ彼 └トス除ハ || ||

トナル又此 || || ヲ以テ彼 || || ヲ除ケハ

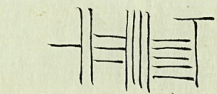
|| || トナス

箏篋削作之法

正負篋亦ノ削作ノ法古ハハ幅ニ分長サ三寸ニ  
 シテ正ハ三角ニ削リ殺二百十六本負ハ四角ニ  
 削リテ殺百四十四本ナリ今ハ幅モ長サモ好ニ  
 從フ皆四角ニ削リ正ヲ赤ク負ヲ黒クスルナリ  
 肩面ニ記スルニハ邪ヲ加フルヲ負トシ否<sup>ニカ</sup>ラサ  
 ルヲ正トス邪ヲ加フルトハ假如バ負三ナレハ  

 ニ作り負四ナハヲハ
 トシ負三百六十  
 ナレハ
 トスル類ナリ今ノ篋木幅ニ分長サ  
 ナル故<sup>ノ</sup>寸ニスルヲ業<sup>カ</sup>ニ使  
 ノシ

因業ノ法

假如ハ左ニヨ右十二万三千四百五十六ニ業  
 スレバ二十四万六千九百一十二トナルニ



二

圓ノ如ク上ニ十二万三千四百五  
 十六ヲ置下ニニヲ置上ノ首位上  
 下相呼テ業スルニ

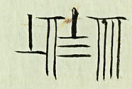
其法先ツ上ノ一十<sup>万</sup>ト下ノ二ト相呼テ一  
 二ノ二ト云テ十<sup>万</sup>ヲ廿<sup>万</sup>ニ作ル<sup>コ</sup>レ<sup>節</sup>ニ  
 ルト云<sup>テ</sup>是ナリ<sup>相</sup>下ニ<sup>シ</sup>退<sup>テ</sup>上ニ<sup>シ</sup>下ニ<sup>シ</sup>置<sup>相</sup>呼<sup>テ</sup>

二二カ四ト云テ上二万ヲ四万ニ作ル又下  
 ニシ退テ上三ノ下ニ置テ相呼テ二三カ六  
 ト云テ上三子ヲ六千ニ作ル又下ニラ退テ  
 上四ノ下ニ置テ相呼テ二四八ト云テ上四  
 百ヲ八百ニ作ル又下ニラ退テ上五ノ下ニ  
 置相呼テ二五ト云テ上五ヲ拂ヒ去テ百  
 ト為テ上八百へ加ヘルナリ言テ下自過テ九百ト為  
此時ニ十位空ト又下ニラ退テ上六ノ下  
十ルニ右ヲ置ニ置テ二六十二ト云シ十ハ一位上ノ空

ナル所へ入レテ六ヲ破リテニニ作ル時ハ  
 亦四万六千九百十二トナル也

三四五六以上一位ヲ棄スルノ皆同也

假如ハ九千九百七十八十九ニ棄スレ  
 ハ十六万九千七百二十五トナル



四ノ如ク六千七百八十九ヲ上ニ  
 置二十五ヲ下ニ置テ上ノ首位六  
千ト下ノ尾

位五ト上下相呼テ棄スルニ  
 相當ル

其法先以下二ト上六ト相呼テ二六十二ト